

【本堂】墓地・靈龕堂・法螺陀淨苑・永代納骨

※お墓の有無にかかわらずどなたでもご参加いただけます

時間	20日(水)	21日(木)	22日(金)	お中日 23日(土・祝)	24日(日)	25日(月)	26日(火)
8:00	○	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	○		○	
13:00	○	○	○	○	○	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○	○
19:00				○			

【圓照堂】※22日、23日は西山本堂にて19:00の間にご参加できます。※御位牌・御遺骨は予約制にてお出しいたします。

時間	20日(水)	21日(木)	22日(金)	お中日 23日(土・祝)	24日(日)	25日(月)	26日(火)
8:00	○	○	○	○	○	○	○
10:00	○	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	○	○		
14:00	○	○	○	○	○	○	○
15:00	○	○	○	○	○		
16:00	○	○	○	○	○	○	○

■は混雑が予想されます ▽はお受けできません

◆申込方法／来寺または郵送にて(予約優先)
※ご参加できない場合、遙拝供養(施主さま不参加でのご供養)も承ります。

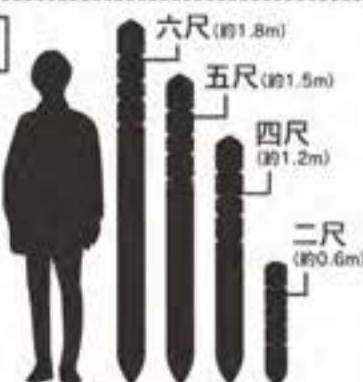
興正寺では秋のお彼岸の期間中、ご先祖さまや亡き方々への供養会を行います。家族が悉く暮らしていることを故人に報告し、感謝の気持ちを込めて心静かに手を合わせましょう。

秋季お彼岸のご案内

九月二十日(水)～二十六日(火)

◎供養料

塔婆の大きさ	供養料(塔婆料含む)
六 尺	35,000円
五 尺	15,000円
四 尺	10,000円
二 尺	5,000円

塔婆
サイズ一覧

興正寺の塔婆は、一本一本手書きです。

奉納おはぎのご案内

當山ではお彼岸のご先祖さまへの
お供えとして「おはぎ」の奉納を承つ
ております。

◎奉納料 千円

当日まで受付



奉納いただいた方は、
お名前をあげさせていただきます。

期間中の諸法会ご案内

◆九月二十三日(土・祝)

九時三十分より 西山本堂

興正寺施主慰靈法会

十三時より 光明殿

人形・仏具供養会

◆九月二十四日(日)

十二時より 西山本堂

特別永代祠堂法会

秋のお彼岸ガイド

残暑厳しい日が続きますが、まもなくお彼岸がやってきます。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉があるよう、お彼岸の時期は春分・秋分の日を挟んだ七日間で、季節の移行期間でもありますね。

お彼岸とは?

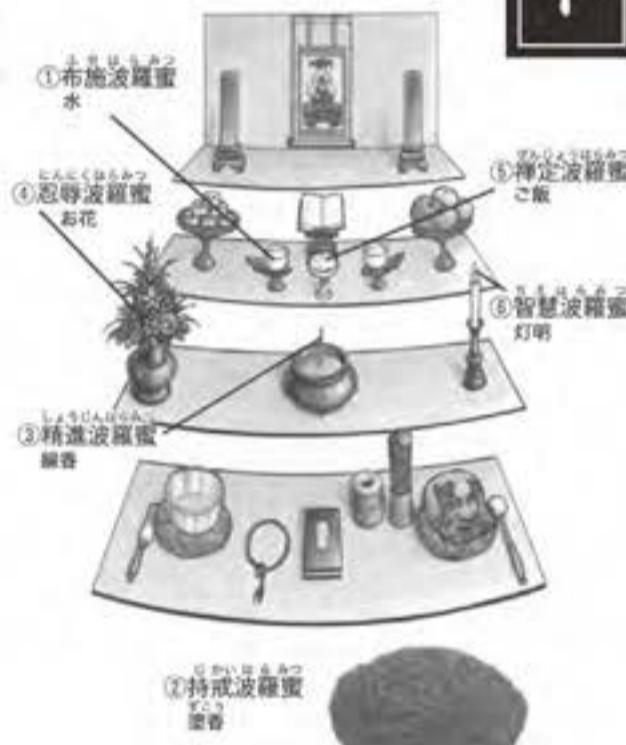
さて彼岸は正式には到彼岸といいます。サンスクリット語の「パーラミタ」(漢字ではご存知「波羅蜜多」!)が語源で、悟りの世界へ渡ることを意味します。お彼岸は彼の岸=仏さまの悟りの世界へと至るための修業の一週間でもあります。

その悟りの世界へ渡るための心得が「六波羅蜜」。

布施・持戒・精進・忍辱・禪定・智慧の六つを実践することです。

言葉だけ聞くと難しそうですが、実は丁寧にお仮壇・お墓参りすることで私たちにも実践できるのです。これを「六種供養」といいます。

【六波羅蜜と六種供養】



【六種供養】

① お水

お水にはものを平等に生かす力があります。これによってあらゆるものに寄しく施すことを意味しています。

② 塗香

お線香は一度火が付けば消えることなく最後まで燃え尽きます。絶え間なく、たゆまず、実践することを表します。真言宗では、お線香は三本立てます。

③ 線香

お線香は一度火が付けば消えることなく最後まで燃え尽きます。美しく咲いた花を見て、怒らない・カッとした心も同時に養いましょう。

④ お花

厳しい寒さ・暑さの中でも、花は又句を言うことなく耐え雷を聞かせます。美しく咲いた花を見て、怒らない・カッとした心も同時に養いましょう。

⑤ ご飯

食事は人に幸福感を与え、良い心を起こします。空腹では怒りっぽくなるのが人間の心、大人でも赤ちゃんでも同じです。私たちの中にいる仏さまの教えなのです。

⑥ 灯明(ロウソク)

暗闇の中で灯がともると、ほっとしますね。不安と恐怖で満ちた心の闇を照らしてくれるのは仏さまの智恵の光であり、私たちの中にいる仏さまの教えなのです。



高野正清

その三十九

惠果和尚とお大師さまとの出会いが、その後の日本での仏教界にどれほど影響したのかは計り知れません。惠果和尚はお大師さまに「早く日本に帰り、國家安泰と国民の幸福のために密教を広めよ」と遺言を残し、十一月十五日、大勢のお弟子さんに見守られ、お亡くなりになりました。

お盆も終わり興正寺は少し落ち着きを取り戻しつつあると思いきや、九月は秋季彼岸、十月には千燈祭とまだまだ行事が盛りだくさんでございます。寒くなってきた頃にちょうど落ち着きを取り戻すのではないでしょうか?

さて、さらなる仏の教えを得るため、はるばる海を越え入唐を果たされたお大師さま。唐ではどんな出会いが待っているのでしょうか。

◆◆惠果和尚との出会い◆◆

長安にたどり着いたお大師さまは、まずインドからの留学僧永忠に出会います。そこでは梵語(サンスクリット語のこと)やインド仏教などを短期間で大いに学ばれます。入唐の目的であつた大日經については、その第一人者である長安・青龍寺の惠果和尚と面会を果たすこととなります。



△惠果和尚

◆◆書の達人「五筆和尚」◆◆

亡くなられた惠果和尚の生涯をたたえる碑を建てることになり、弟子四千人の中から、特にお大師さまが選ばれて、その碑文を書かれました。

留学僧として本米は二十年いなければならぬところを、僅か二年で帰国を決めてしまったお大師さまはたして無事に日本にたどりつくことができるのでしょうか。

南無大師遍照金剛

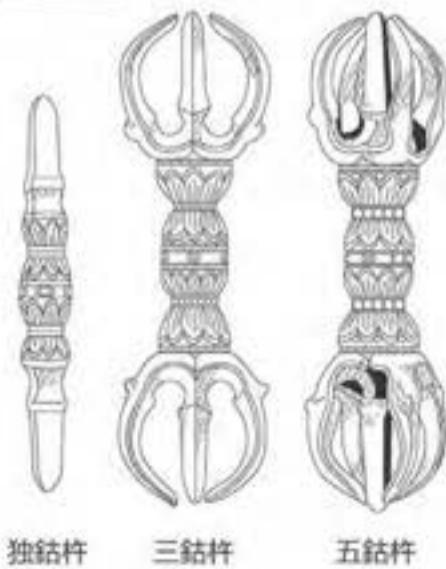
お大師さまは嵯峨天皇・橘逸勢と並び、日本の書道史上もっとも優れた字を書いた人として、「三筆」とも称えられてきました。

◆◆飛行の三鉢◆◆

真言密教の教法を余すところなく受け継いだお大師さまは、明州から日本に帰ることになります。帰国直前、お大師さまは浜辺に立たれ、「私が受け継いだ、教法を広めるのによい靈地を示したまえ」と手にもつた三鉢を、空に投げました。すると三鉢は五色の雲にのって、日本に向かって飛んで行つたそうです。飛んで行つたのはやがてお大師さまが靈場を開かれる高野山です。その三鉢が留まつていたとされる松は「三鉢の松」と呼ばれています。

惠果和尚は、日本に真言宗が開かれるまでに、その法流を継いできた真言八祖のうちの第七祖とされています。唐では右にならぶ者のない名僧で四千人の弟子がおられました。お大師さまに会われるや「我、さきより汝のくるのを知り、待つこと久し」と大層喜ばれ、ただちに灌頂壇に入ることを勧められました。(灌頂とは頭頂に水を注いで諸仏や曼荼羅と縁を結び、正しく種々の戒律や資格を授けて正統な繼承者とするための儀式のこと)。四千もの弟子がいる中で、お大師さまは惠果和尚の後継者として灌頂を受け、僅か八ヶ月の間に密教の秘法を受けて「遍照金剛」の名を授かり八代目の祖師に任せられました。

金剛杵 密教法具の一種



縁日さんぽ

「奥之院」



今月の縁日さんは毎月15日・奥之院 阿弥陀如来縁日のご紹介。

東山奥之院のご本尊は阿弥陀如来さまです。

サンスクリット語でアミーバ、「無限の光をもつもの」というお名前の仏さままで、この世をその光であまねく照らしだすという意味の「無量光仏」と呼ばれることもあります。またこの世の西側にあるという清らかな「西方淨土」のあるじでもあります。極楽淨土と言ったほうが馴染みあるかもしれませんね。興正寺でも、奥之院のご朱印は「西方佛」と記されます。

■奥之院のおもな年間行事

●大祭(11月15日)

東山奥之院本尊の阿弥陀如来と密教法具の五鉢杵を善之網で結び、お一人さます五鉢杵に触れて頭きながらお加持いたします。仏さまから読いている五鉢杵に触ることは仏さまに直接触れたのと同じになり、より深いご縁を結んでいただけます。



毎月15日の縁日はどなたでもご参加できます。

奥之院御縁日では阿弥陀経などおつとめをした後、皆さんで「善之網おくり」を行います。

奥之院はこの八事山で最も古くからあるお堂の一つです。阿弥陀如来さまの右側は興正寺歴代住職の、そして左側には尾張徳川家歴代藩主の位牌があさめられています。お参りするとともに、刻まれた三百余年の時間を感じて、ぜひ御縁日に足を運んでみてくださいね。



お参りしよまい!興正寺の諸堂縁日

興正寺の縁日は5日と13日だけじゃありません!山内のあちらこちらにある御堂で、様々な仏さまをお祀りして縁日のおつとめを行っています。誰でも参加できるこれらの縁日、御堂や担当のお坊さんによって雰囲気が全然違うんですよ!

8日



大日如来
(大日堂)
高野正清

15日



阿弥陀如来
(奥之院)
渡邊正大

18日



觀世音菩薩
(觀音堂)
西山海良

21日



弘法大師
(弘法堂)
三井正優

24日



地藏菩薩
(能満堂)
豊田正純

28日



不動明王
(不動護摩堂)
小松永明

身体健全祈禱会

尾張徳川家祈願所 興正寺の七五三

要予約

平成29年度 合同祈祷会

日時 11月3日(金祝)4日(土)5日(日)11日(土)12日(日)
18日(土)19日(日)25日(土)26日(日)

◎各日 10時/11時/12時/13時/14時/15時 開始

●運営のため、12日10時-15時/26日10時-15時の回はございません。

●詫み合ひ場合は別時もいたがる場合があります。(手帳優先)

平成23年生まれ(七歳)、平成25年生まれ(五歳)、
平成27年生まれ(三歳) 幼年齢でも受付いたします。

料金 5,000円 御幣(お子さまのお名前入り)・御守・千歳賀付
※御幣での御祈祷をご希望の場合は賄賂承ります。お問い合わせください。



観音堂

お砂袋新調 志納募集

この度、平成29年10月5日、13日の観音堂秘仏開扉法会に併せて、ご宝前にて奉納しております西国三十三所、観音霊場お砂のお砂袋を新調いたします。

秘仏開扉法会当日は、堂内にお砂に触れながら参拝していただき観音さまの功德を頂戴していただきます。

是非、この勝縁にご志納いただき、観音さまとご仏縁を深めてください。



お砂袋新調志納 一口2,000円より

10月5日・13日に観音堂にて承ります。

(当日参拝できない方は、納経所にてお申し込みください)



△お年寄りや家族連れのほか、学校帰りの若い学生さん達などもお店に訪れる。



△様々な和菓子・餅菓子が並ぶ。定番の大福などをはじめ鬼まんじゅうも人気。



●山田 克哉さん

昭和二年創業の老舗餅菓子・和菓子店。十年以上前から、興正寺の法要のお餅や月見団子などの製造を手掛けている。

昭和二年創業から九十年という長い歴史を持ち、名古屋の餅菓子・和菓子店としてたくさんの人から親しまれている山田餅本店。その代表取締役を務めるのが二代目の山田克哉さんだ。興正寺の法要のお供え物や、毎年十月に行われる観月会のために名古屋独特の里芋を模した月見団子を作っている。月見団子は僧侶がご祈祷したものを限定販売しており、いつも好評を博している。

その年によって一番良い産地の餅米を仕入れ、素材にこだわった商品を提供しているという山田さん。山田餅本店の三代目を引き継ぐ前には、餅だけではなく他の商品も取り入れられるようとに東京の和菓子屋で修行を積み、三代目として、ずつとそのスタイルのまま残つていています。時代に沿つた変化や新しいものを取り入れていくことも大切ですが、そ

てお店を離いでからは生菓子も店頭に並ぶようになつた。「和菓子やお餅の消費量は、年々減少傾向にあります。名古屋のお餅屋さんや和菓子屋さんは、三十年前の半分くらいにまで減つているのが現状なんです。」と語る山田さん。しかし、そんな厳しい時代の中でも山田餅本店には親・子・孫の三世代で買にきてくださるお客様や、学校帰りに立ち寄つて餅菓子を買い食いする学生さんなど幅広く根強いファンがいるのもまた事実だ。「時代がどんなに変わつても、大福やおはぎなどは材料や形など全く変わってなく

いう昔からのものもちゃんと守つていきたいと思います。その辺りは、興正寺のような寺社仏閣と共に通している部分かもしれないですね。」と山田さん。

興正寺はお参りに訪れる特別な場所というよりも、散歩の途中でフラッと立ち寄る身近な場所として山田さんの日々の暮らしの中に存在しているという。「この辺りに住んでる人はみんな、そんなふうにわりと気軽に興正寺を訪れていましたよ。」と笑顔で話してくれた。そして「古き良き部分を守りながら年齢や性別問わず多くの人が訪れる興正寺のように、山田餅本店も前進していきたいですね。」と語った。

時代が変わつても変わらずある興正寺のように、昔からの餅・和菓子を守つていきたいたい。



地域版

八事山文庫

人と街とお寺をつなぐ場所

長月

こと

白露

九月七日

秋分

九月二十二日

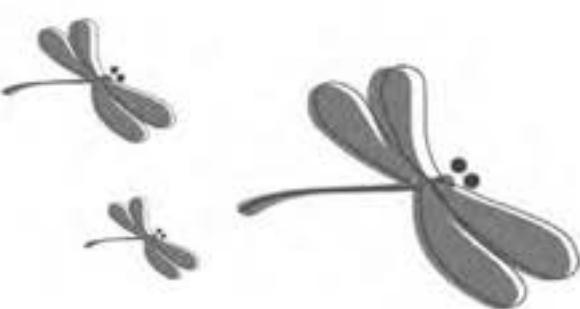
夜がだんだん長くなる「夜長月」
秋雨が降る「長雨月」

夜中に大気が冷え、草花や木々に朝露が宿りはじめる。降りた露は光り、キラキラとした白い粒のように見える。

太陽が真東から登り真西に沈む。昼と夜の長さは全く同じになるその日を中心とした週間が秋のお彼岸。



「身口意」。
身体・言葉・心。この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。
このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介します。



作詞者の三木露風(1889-1964年)は兵庫県生まれの童謡作家、歌人、随筆家。有名な「赤とんぼ」は露風自身の幼少期の思い出を書いたものだと言われています。真っ赤な夕焼けと赤とんぼの、美しく鮮烈な情景。娘や背中に感じる体温の暖かさ。もう会えない人、戻れない場所への切ない未練の心。短い詞の中に多くの絆が込められているのでしょうか。

「赤とんぼ」(童謡)

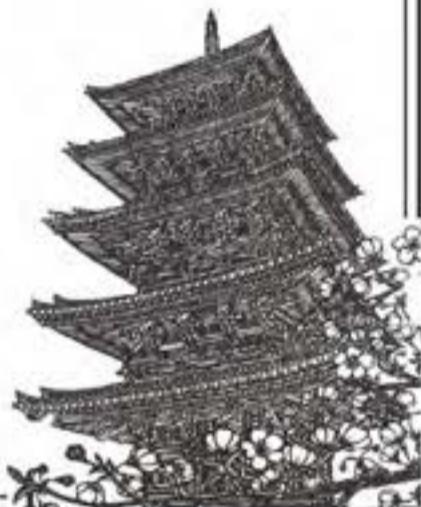
十五で姉やは嫁にいき
お里の便りも絶えはてた
夕焼け小焼けの赤とんぼ
とまつているよ竿の先

夕焼け小焼けの赤とんぼ
負られてみたのはいつの日か
山の畑の桑の実を
小かごに摘んだはまぼろしか

寺宝公開②6 秋の歌

暦の上では秋ですが、まだまだ暑い日が続いています。そんな時、目に写るものや耳にする音に工夫をこらして季節を楽しんだ昔の人びとの知恵と心を思起します。

一句の和歌から想像をふくらませ、どんな世界を描き出せるか。自分の中にある「感じる力」を探ってみてはどうでしょう。



興正寺月釜

- ◆開催日 平成29年9月9日(土)
 ◆時間 10時~15時 ※9時受付開始/15時終了
 ◆場所 興正寺茶室 竹翠亭・耕雲亭
 ◆茶券 薄茶席二席 1,500円 ※当日券あり
 竹翠亭席 武者小路千家 伊藤妙宣
 耕雲亭席 興正寺

初秋のしつらい「重陽」～竹翠亭 李節の室礼～

五節句のひとつ「重陽」。菊を愛でながら、日本の伝統と文化にふれるひとときをお愉しみください。

- ◆期 間 平成29年9月1日(金)~9月7日(木)
※9/3はお休みです

◆時 間 10時~16時
※9/5は9時~16時

◆場 所 興正寺茶室 竹翠亭

◆拝観料 500円(呈茶付)



竹翠だより

お茶が教えてくれた
| あわせ

えつ！重陽つてなにかしら？

現在は“知る人ぞ知る”になつてし

現在は、知る人ぞ知る”になつてしまつていますが、日本の文化の元旦から大晦日までの季節ごとに行われる年中行事には作法や決まり事があります。その中に五節句(※)があり、その内の二つが九月九日の「重陽の節句」です。

菊には魔除け、不老長寿の効用があるとして、九月八日の夜に菊に綿をかぶせ、九日に露で湿つた綿で体を拭き清めるほか、益に菊の花びらを浮かべて無病息災を願い菊酒をくみかわし、詩歌を詠み雅の日として過ごしました。江戸時代になると庶民の間にもこれが広まりました。九日がなまつて「おくんち」(=秋の収穫を感謝して奉納される祭)になつたとも言われています。旧暦は、現在の暦からおよそひと月遅れで季節感もちょうど良く、菊も咲き、露もおりて秋の収穫の時期になります。現在では「おくんち」は、地方によつてはひと月遅れの収穫祭として十月九日に行われるところもあるようです。(小泉)



【竹林亭九月の休み予定】

- | | | | | |
|------|----|---------|---------|-----|
| 一月七日 | 人日 | 七草の節句 | 十六日(月) | 定休日 |
| 三月三日 | 上巳 | 桃の節句、雛祭 | 十七日(火) | 挙式 |
| 五月五日 | 端午 | 菖蒲の節句 | 十九日(水) | 定休日 |
| 七月七日 | 七夕 | | 二十三日(土) | 挙式 |
| 九月九日 | 重陽 | 菊の節句 | 三十日(土) | 定休日 |



あなたの祈りを灯りと共に
葵燈籠会

わらつて…わらつて…
お寺でおとまり会

八事山歳時記

お大師さまの誕生を祝う
青葉まつり

夏の初めの一週間 夏休みラジオ体操

七月盆にあわせ、七月十五日に葵燈籠会が行われ、夜には竹燈籠が境内を照らし、幽玄の空間が創り出されました。また当日は境内の三カ所で

献灯を行うことができる「三燈一會」の蠟燭が授与され、参拝者は様々な願いを込めながら自らの手で灯を点しました。

小学生を対象にしたお寺でおとまり会が七月二十三日・二十四日の二日間に渡り行われました。子どもたちは花火や肝試しなどのレクリエーションを楽しんだり、朝のおつとめ、ワーク

など、お寺でしか体験できない夏の時間を過ごしました。お寺でおとまり会は毎年七月と八月の夏休み中に二回、開催されます。

真言宗の開祖である弘法大師空海の生誕を祝う法会「青葉まつり(降誕会)」が、八月五日に興正寺西山本堂にて厳修されました。盛夏の暑さにも関わらず、当曰は高祖弘法大師の誕生日を祝おうと多くの参拝者が訪れました。

一日から二十七日までの一週間、興正寺五重塔前で開催されました。ラジオ体操のあと、本堂内に場所を移しておつとめを行い、僧侶による法話に耳を傾けました。希望者により境内の掃除も行い、子どもたちを始め多くの父兄の方たちと

清々しい朝の時間を過ごしました。

興正寺最古の法会 布薩会

去る八月六日、布薩会が西山本堂にて厳修されました。参拝者は戒師より菩薩十善戒を授かり、仏教の戒律を守っているか、自己の行いを反省しました。終了後、参拝者には布薩を終えた証として菩薩戒牒に朱印が授与されました。

スタジオSola
寺ヨガ特別イベント

七月二日にスタジオSola様による寺ヨガ特別イベントが行われました。三十名ほどが参加し、普門園大書院でのヨガの他、星茶や食事作法を学んだり、護摩祈祷に臨んだりと、興正寺ならではのプログラムに取り組みました。



至自 平成二十九年七月三十一日
 二口 山田弘子
 あり がとうございました。
 心より感謝申し上げます。合掌
 (順不同 敬称略)
 八事山 興正寺

能瀬堂修復志納

ご芳名

一日修行体験・特別篇

—私たちがご案内いたします—

終活道場

—「死生観」を考える、お寺だからできること—
 自らの終わりを見つめることで今を生きることを考え、
 自分を見つめ、自分らしく生きること。
 興正寺がご提案するお寺ならではの「終活道場」で、
 あなたの今を見つめなおしてみませんか。

作務 講義 教説 常識会

などのお寺ならではの体験を通じて「終活」を考える一日

講 師

興正寺僧侶
樹田 英伸



僧侶の視点から「生と死」を見つめる本当の終活を行います。終活道場に限らず、寺内講座「一日修養会」「仏典読み解き講座」「茶の古典を読む会」の講師も務めています。

案内人

FP OFFICE
 緑-YUI- 代表
林 直子氏



日本FP協会会員 ファイナンシャルプランナー。
 老後から終末期までのプランニングに軸足を
 置き「自分らしい」心のこもった終活をかなえる
 ため、相談・執筆・講演を行っています。

開催日程 2017年9月9日(土) 支具料 3,500円《昼食付き》 定員 15名【先着予約制】

●詳しい内容やお申込についてはお問合せください。●内容は場合により変更されることがあります。

八事山 興正寺 受付時間のご案内

祈禱・供養(御向・法要)	9時~16時 (最終受付15時30分) 《予約優先》	当日受付はお待ちいただくことがあります ※西山本堂(垂拂殿・位牌殿含む)は毎時00分より 御座室は毎時30分より
納経所(受付)	8時~18時	御守・御朱印・おみくじ・納経・その他施設等
永代供養受付	10時~17時 《予約優先》	毎週火曜定休 ※毎月5日・13日・21日と行事日を除く
普門園	10時~16時 (最終受付15時30分)	拝観料 500円(多宝塔翠亭での受付料・不使用) ※毎月5日・13日 9時~
甘味・食事処 八琴庵	10時~16時 (L.O.15時30分)	毎月5日を過ぎた火曜定休 ※毎月5日・13日 9時~

各諸堂の参拝時間

(お堂の外からの参拝は24時間可能)

諸堂	開 室(堂内参拝可)	閉 座
西山本堂 垂拂殿・位牌殿含む	毎日 8時~17時 ※法会中はお待ちいただくことがあります	-
大日堂	毎月8日 12時30分~14時	-
諸講堂	毎月24日 13時~14時30分	左記開堂日程外 9時~16時
奥之院	毎月15日 13時~14時30分	毎月5・13日 9時~13時
觀音堂	毎月18日 13時~14時30分	左記開堂日程外 9時~16時
弘法堂	毎月21日 10時30分~12時	-
不動護摩堂	毎月28日 14時~15時30分	-

日祭事等により変動する場合がございます。ご了承ください。

靈龕堂の参拝時間 (下記行事以外の通常時/開堂8時~閉堂17時)

行 事	日 程	開 堂 ~ 閉 堂
年末年始	平成28年12月31日~平成29年1月3日	7時30分~17時
春季被岸 ※1	3月17日~23日	7時30分~17時
觀音会	6月10日	8時~20時
七月盆	7月13日~15日	7時30分~20時
八月盆・施餽鬼 ※1	8月10日~16日	7時30分~17時
秋季被岸 ※1	9月20日~26日	7時30分~17時
觀月会	10月4日	8時~20時
千燈祭	10月7日~8日	8時~20時

※1 19時より合図法要のある日は供養会終了時まで

圓照堂の参拝受付時間

(下記行事以外の通常時/9時~17時・最終受付16時30分)

※圓照堂本堂は開堂8時~閉堂17時

行 事	日 程	受付時間 ^① 参拝 ^② 召出 ^③	本堂開堂
年末年始	平成28年12月31日~平成29年1月3日	事前予約制 ※1	7時30分~17時
春季被岸	3月17日~23日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
觀音会	6月10日	9時~19時30分	8時~20時
七月盆	7月13日~15日	事前予約制 ※1	7時30分~20時
八月盆・施餽鬼	8月10日~16日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
秋季被岸	9月20日~26日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
觀月会	10月4日	9時~19時30分	8時~20時
千燈祭	10月7日~8日	9時~19時30分	8時~20時

※1 受付時間については、お問合せください。

※2 19時より西山本堂で合団供養会のある日は供養会終了時まで



9月の興正寺講座



※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

■ 仏讃歌

御詠歌上級

9月12日・28日 13時30分より

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

講師 鈴村隆弘

光明殿

御詠歌初級

9月10日・21日・29日 14時より

金剛流御詠歌の初級講座です。21日は本堂出仕。

講師 鈴村智弘

光明殿

御詠歌入門

9月2日・16日 14時より

金剛流御詠歌の超入門、お作法や符の読み方からはじめます。

講師 鈴村智弘

光明殿

■ 体験する

阿息観(密教禪)

講師 杉浦宣秀

9月10日・30日 14時より

普照殿／奥之院

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ!

阿字観

講師 杉浦宣弘

今月はお休みです

奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏

講師 樹田英伸

9月21日 11時より

光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

■ 学ぶ

仏教入門講座

講師 森田泰澄

今月はお休みです

普照殿

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。

脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

仏典読み解き講座

講師 樹田英伸

9月28日 10時より

普照殿

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著「往生要集」を読み解いていきます。

■ 健康づくり

ゆらゆらペアストレッチ

講師 町田一寿

9月13日 ①10時②11時30分より

普照殿

支具料1,000円(予約優先・当日参加可)

TERA-YOGA(寺ヨガ)

講師 西口のぞみ

9月21日 10時より

観音堂

支具料2,000円(要予約・×切前日17時)

マタニティヨガ

講師 西口のぞみ

9月21日 13時より

観音堂

支具料2,000円(要予約・×切前日17時)

■ 遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容について、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

写 経

9月12日

講師 西山海良

支具料1,500円

阿息観

9月26日

講師 西山海良

支具料1,500円

日々折々の書

9月25日

講師 中村 均

支具料2,000円

水墨画

9月22日

講師 山田静舟

支具料2,000円

きもの装い(入門・応用)

9月6日

講師 小泉美代子

支具料2,000円

茶の古典を読む

9月7日

講師 樹田英伸

支具料1,500円

御詠歌上級・初級を除くすべての講座でWEB予約が可能となりました。興正寺公式ホームページ「まなびの講座WEB受付」よりお申し込みください。

八事今昔物語～そこにお寺のある暮らし～

ここ、興正寺は江戸初期から三百余年の歴史を刻む古刹です。その間日々の変わらぬ勤めと同時に、様々な行事が行われています。そして、行事は旧暦を中心に行われることが多いのです。たとえば「四月八日の花まつり、何か行事をされますか~?」というご質問をいただきます。「興正寺では旧暦で行いますので今年は○日ですよ~」というお返事になるのですが…。この旧暦って何でしょう。中部地方では八月盆が主流ですが、このお盆が七月と八月の二つある、というのも同じ理由から。私達日本人の生活には「旧暦」と呼ばれる暦が現在も綿々と生きているのです。難しいことはさておいて、お寺ではこの旧暦を生かして日々どのように暮らしているのか、これからご紹介していこうと思います。

暦は「かよみ」つまり「日(か)を読む」が語源と言われます。また、「日の不思議を詳細に知る」から「日知り」=「聖」(智慧や徳の高い人)となったと言われます。それくらい、暦は大切な知識だったのです。日本人の生活が、江戸時代までの旧暦と呼ばれる暦から新暦(現在の暦)になったのは、何と明治6年、正確には「明治5年(1872)12月3日を歐米に合わせて明治7年1月1日にするよ~」という宣言から始まったそうです。政治的判断もですが、資金不足が一番の理由だったと言う話もあります。当時の皆さまもですが、新年の年神さまもずいぶん慌てた事でしょう。つまりは約一ヶ月分、季節がずれてしまったわけです。こうしてみると現在の暦はまだ歴史が浅いので、私達の生活にはどっぷりと、「旧暦」が生きているわけです。

興正寺行事カレンダー

9月

普門園拝観時間 10:00~16:00

休園日 / 3日(日)・8日(金)・9日(土)・11日(月)・16日(土)
17日(日)・18日(月)・19日(火)・23日(土)・30日(土)

月	火	水	木	金	土	日	
28 先勝	29 友引	30 先負	31 清浄	1 大安	2 赤口	3 先勝	
4 友引	5 先負 ◎大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 千支成満巡り ◎大般若經転読祈禱会 10:00 10:30 11:00 本堂	6 仏滅 ▽遊翠の心きもの装い 10:00 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	7 大安 白露 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田英伸	8 赤口 戌の日 ◎大日如来緑日 12:30 大日堂 理趣分經祈禱 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂	9 先勝 ☆終活道場 10:00 要予約 ☆月釜 武者小路千家 伊藤妙宣 興正寺 薄茶二席 1,500円	10 友引 ▽阿息觀 14:00 奥之院 杉浦 宣秀 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	
11 先負	12 仏滅 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	13 大安 ◎虚空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 千支成満巡り ★ゆらゆらヘアストレッチ 10:00 11:30 普照殿	14 赤口	15 先勝 ◎東山 奥之院緑日 13:00 奥之院 善之綱おくり	16 友引 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	17 先負	
18 仏滅 敬老の日 ◎觀世音菩薩緑日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話	19 大安	20 友引 戌の日 彼岸入 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂	21 先負 ◎弘法大師緑日 10:30 弘法堂 読経/法話 ◎月並御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:00 光明殿 ▽御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 ★TERA-YOGA 10:00 観音堂 要予約 ★マタニティヨガ 13:00 観音堂 要予約	22 仏滅 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	23 大安 秋分の日 ◎興正寺施主慰靈法会 9:30 本堂 ◎人形・仏具供養会 13:00 光明殿	24 赤口 ◎地蔵菩薩緑日 13:00 能満堂 大數珠おくり/紙芝居 ◎特別永代祠堂法会 11:00 本堂	
觀世音菩薩	★永代供養受付定休日	秋季彼岸合同供養会 基地・電鉄堂・佐羅陀淨苑・永代納骨・一般檀信徒の方は本堂へ 圓照堂に納骨されている方は圓照堂へ	本堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	本堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	本堂 8:00 11:00 13:00 16:00 19:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	本堂 8:00 11:00 13:00 16:00 19:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00	本堂 8:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 11:00 14:00 15:00 16:00
25 先勝	26 友引 彼岸朝け ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	27 先負	28 仏滅 ◎不動明王緑日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 ▽遊翠の心 茶の扉 竹翠亭 要問合せ ▽仏典読解講座 10:00 普照殿 樹田 英伸 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	29 大安 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村智弘	30 赤口 ▽阿息觀 14:00 奥之院 杉浦 宣秀	1 先勝	
本堂 8:00 11:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 14:00 16:00	本堂 8:00 13:00 16:00 圓照堂 8:00 10:00 14:00 16:00	不動明王	9月23日(土・祝) 人形・仏具供養会 大切にしていた物や心を込めて使われた物には古来より 心が宿るといわれています。 感謝の気持ちをお伝えしてご供養しましょう。 時間 13時より光明殿にて (受付時間9時~13時) 供養料 三千円より	9月23日(土・祝) 人形・仏具供養会 大切にしていた物や心を込めて使われた物には古来より 心が宿るといわれています。 感謝の気持ちをお伝えしてご供養しましょう。 時間 13時より光明殿にて (受付時間9時~13時) 供養料 三千円より			

- 興正寺は自然環境に配慮し、地球環境保全に貢献しています -